熊の子広場から大杉橋への樹木を紹介します

この小径は、遠くを展望出来た見晴らし休憩舎は周囲の樹が大きくなってもはや眺望は望めず、静かな径をひたすら森林の中を地図片手に歩きます。

小径のイメージは、
この辺り一部植林はあるのですが厳しい風雪に天然木に同化したような佇まいを見せます。残された自然のままのところを、目印となる樹木を見通して、一旦五頭山林道へ出てそこから再度大杉橋へ向かって小径を通したというイメージです。
静かな小径です。
道に迷っても少し移動し捜せば「とんがり杉」、「巨木杉」のように、また小沢に架かる「大杉橋」、そしてよくも名付けたと思う「へし折れサクラ」などのように目印になる樹があって、地図片手に小探検の径です。
小生も、緊張する所為でしょうか、最初はどうしても、「大杉橋」へ曲がる箇所がわからず、違う直接林道のシャクナゲノ丘入口へ出る径を歩き、見たいと思う「大杉橋」へどうして出ないのかと、何度か挑戦と言えば大袈裟ですが取組ました。
そして、成るほど、此処に曲がるところがあったと気づき、そうか一人で歩く心細さに辺りを見回す余裕が無かったと気が付きました。
後で、「お山の森の木の学校」の明石代表に同行していただきこの径を歩きましたが、「散策マップ」に記載されていることなど、良く見て歩けばもっといろんな学習が出来たと思います。山歩きの基本は、地図情報はよく見てということでしょうか！
さあ、あなたも、この静かな小径を歩いてみませんか、グリーンハウス若しくは森林科学館に、問い合わせ・散策マップを貰ってくださいね！
一人では寂しいですから、一緒に歩く友達を見つけましょう。きっと楽しい語らいになるでしょう！

大杉橋はこのコースの一番の魅力です。
冬に、夏に、その素敵さをお届けしますね。
真冬の大杉橋、人を寄せ付けない厳しさあります。

2016年1月23日

Fig-5　熊の子広場から大杉橋への樹木　位置図

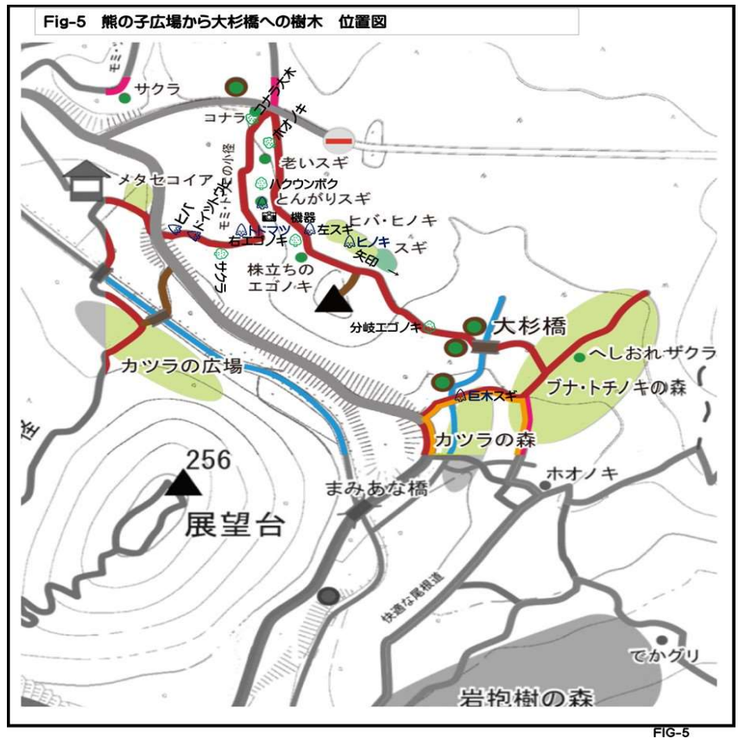
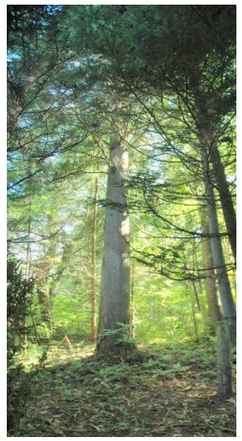


FIG-5

熊の子広場出口のエゴノキ

2018年7月1日

目印のとんがり杉



2018年7月1日

野生生物観測機器

2018年7月1日

曲ったヒバ

2018年7月1日

大木ハクウンボク

2019年4月7日

倒壊休憩舎への径

2017年6月4日

倒壊休憩舎

2017年6月4日

左へ　大杉橋へ　右直進はシャクナゲノ丘への最短ルート

2017年6月25日

大杉橋手前　ガマズミが咲いていた

2017年6月25日

大杉橋が見えた！

2017年6月25日

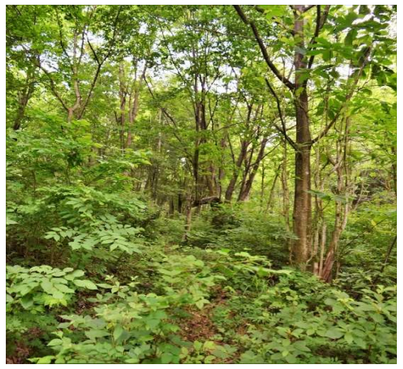
冬には黄色が似合う

2018年2月18日

真夏の大杉橋

2018年7月18日

ブナトチノキの森 中央 へし折れ桜



2017年6月25日

林道 シャクナゲノ丘入口